

環境研究会・特別講演会 100 回越え 記念講演会 & 討論会

近畿本部登録 環境研究会 会長 奥村 勝
 協力：公益社団法人日本技術士会 近畿本部
 公益社団法人大阪技術振興協会

環境研究会は、これまで環境問題を多面的に取り上げて、講演会開催に取り組んでまいりました。お陰様で、その趣旨に賛同いただいた多くの著名な先生方の講演会を開催することができました。第1回は2002年7月に京都大学の植田和弘先生（FIT創設者）をお招きし、「環境保全を守る技術と社会システム」の講演をして頂きました。それ以来、自然環境、地球環境、廃棄物、リサイクル、エネルギー、遺伝子、環境経済等の幅広く多方面の分野についての講演会を開催し、今年1月22日に第100回の講演会を終えることができました。ひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物であると感謝申し上げます。

3月の講演会では100回越えを記念して、これまで講演会に参加頂いた方や支援頂いた関係者によるリレー講演（15分/テーマ）と討論会を行うこととし、1月より講演者の公募を行いました結果、下記の8名の方から応募いただきました。

なお、新型コロナ感染状況をかんがみ、WEB（Zoom）による開催も検討しましたが、講演会場に通信環境がないことからコロナ感染防止対策を行う条件下で、実会場のみでの開催とさせていただきます。WEBなら参加の条件でお申込いただいた各位につきましてはご理解をお願いします。

記

日時：2022年3月26日（土） 13:30～17:00

場所：下記をご参照ください。

講演：講師と発表テーマは次の通りです（五十音順）。

- 岡本昌也（電気電子・総監部門）：技術士として中小企業のSDGs経営の支援をしませんか？
 新保義剛（農業・総監部門）：気候変動の最新の動きから
 水道裕久（農業部門）：食料と環境問題～フードマイレージの低減と未利用資源の活用～
 丹生光雄（化学・総監部門）：持続可能な発展をするために何をすべきか
 中桐 栄（水産部門）：兵庫県の水産業にかかわる海の環境情報
 濱崎彰弘（環境・機械・生物工学・総監・化学部門）：植林とカーボンプライシングで地球温暖化問題解決策の提案
 深田晃二（衛生工学部門）：省エネ・再生可能エネルギー・二酸化炭素捕集によるカーボンニュートラル実現の可能性について
 南方英則（衛生工学・総監部門）：資源循環による循環経済に向けた拡大生産者責任制度について
 （講演終了後：討論会）

場所：アーバネックス備後町ビル 3Fホール

地下鉄御堂筋線 本町駅 1番出口から徒歩約1分

* 1番出口から左（東）へ、最初の十字路を左（北）へ
 左側2軒目のビル

参加費：1,500円（一般の技術士会員及び技術士以外の方）
 （環境研究会会員及び学生は無料）

懇親会：講演会終了後、懇親会を行います。

場所：キッサカバ（旧PRONT安土町）、感染防止のため1F貸切

会費：3,850円（税込）飲み放題つき

その他：会場での検温、手指の消毒、マスクの着用にご協力下さい。

申し込み締切：3月24日（木）、懇親会は3月21日（火・祝）



【お申込み・お問い合わせ】

環境研究会連絡担当： 藤橋 雅尚 m.fujihashi@nifty.com

以上